

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学Ⅱ		講義	山本 翔太	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
人体では生命維持活動（呼吸・循環・消化吸収・排泄）、外界からの刺激に対する反応や働きかけ（感覚・運動）が絶え間なく行われている。また、これらを調節、統合するために、神経系や内分泌系が動いている。これらの基本的な正常機能を理解し、生命現象への理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 血液循環調節について説明できる。		5. 内分泌機能について説明できる。		
2. 呼吸の仕組みについて説明できる。				
3. 消化と栄養の吸収について説明できる。				
4. 尿生成と排尿について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	血液① 血液の組成と機能、赤血球、血小板			
2	血液② 血漿、血液型、リンパ系			
3	生体防御① 白血球			
4	生体防御② 身体の防御機構			
5	呼吸とガスの運搬① 外呼吸と内呼吸、呼吸運動、呼吸気量			
6	呼吸とガスの運搬② ガス交換とガスの運搬、呼吸の調節			
7	尿の生成と排泄① 腎臓の役割、尿の生成			
8	尿の生成と排泄② 酸塩基平衡			
9	消化と吸収① 消化器の役割、口腔内消化と嚥下、胃・十二指腸における消化			
10	消化と吸収② 小腸における消化と栄養素の吸収、大腸の役割			
11	栄養と代謝① 三大栄養素と代謝			
12	栄養と代謝② エネルギー代謝			
13	内分泌① ホルモンの役割			
14	内分泌② 各腺から分泌されるホルモンの作用			
15	内分泌③ まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	課題の提出と内容にて評価する。		
レポート・課題	20%			
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	再試験は筆記試験を100%として成績判定する。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 生理学 第6版		岡田隆夫 他	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
からだが見える 人体の構造と機能		医療情報科学研究所	メディックメディア	
自由記載				
備考				